

第4学年 外国語活動 授業構想シート

授業者 中岡 正年

本実践の主張点	自分の思いを訪日外国人の方に伝えようと意識させることで、コミュニケーションに必要な言葉を既習事項から考え、さらに、新しい表現を積極的に習得していこうと主体的に学習に取り組むだろう。
---------	--

1. 単元名 和歌山に来てください！ ～My favorite place is ○○○！～

2. 4年B組の子ども

昨年度からの外国語活動において継続して簡単な英語の歌を歌ったり、ゲームを行ってきたりしたことで、英語の表現にも慣れてきている。また英語圏以外のゲストティーチャーとの交流を通して、他国の文化に興味をもつ子どもも増えてきている。一方で、実際に訪日外国人にウェルカムカードを渡す実践では、緊張してしまったり、上手く自分の考えや思いを伝えられなかったりしたことで、悔しい思いをしている子どももいる。しかし、その実践から多くの子どもが英語を話したい、コミュニケーションをとりたいという思いが高まりつつある。

3. 何ができるようになるか

探究力	・自分の気持ちを伝えるために必要なことを考え、既習の言葉や表現を活用し、表現する力
省察性	・相手に自分の気持ちを伝えることができたかどうかをふり返り、今後どのような言葉・表現が必要かを考える力

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

自分のお気に入りの場所やその理由を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、お互いの思いを伝え合おうとする。

② 教材の価値

お気に入りの場所の理由を伝えるために、子どもたちは既習の「I like～」を活用することが想定される。昨年度から多くの場面で活用していることから、子どもたちにとって慣れ親しんだ表現であり、自分の思いに相違なく活用できる英語表現であると思われる。そこで本単元では既習のことを活かし、実際に訪日外国人に、自分たちにとって身近な和歌山の良いところを伝えて、ぜひ和歌山県に来てもらおうと子どもたちに提案する（関西国際空港にて実施予定）。既習の英語表現を活用させ実際に思いを伝える場を設定することで、今回の実践にとどまらず、今後もより多くの人と交流をもち、コミュニケーションを図る手立ての探究を継続するようになっていくと考えている。

③学年間・教科間のつながり

外国語活動は、CHANGEの「ウェルカムカードをわたそう」、社会科の「わたしたちの県の様子」、国語科の「自分の考えを伝える」と関連させている。自分の思いや調べたものを伝えることを軸とすることで、情報の収集、表現の模索を検討し続けると考えている。また、自分の好きな場所を伝える際には、既習の「I like～.」「Because～.」等の表現を活用することが考えられる。実際に伝える相手がいることで、自分の思いを伝えるために、必要なことを考えさせ、探究する姿に繋げたい。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる
 つなげる
 まとめる
 広げる
 予想する
 見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p>単元計画（全7時間） 本時 5/7</p> <p>第1時 外国語で自分のお気に入りの場所の伝え方を考え、表現を知る。</p> <p>第2時 主教材を活用し、学校の中で好きな場所を伝える表現を知ったり、FLTに相談したりする。</p> <p>第3時 和歌山の中での自分のお気に入りの場所を考え、外国語で伝える表現について知る。</p> <p>第4時 主教材を活用し、和歌山の好きな場所を伝える表現を知ったり、FLTに相談したりする。</p> <p>第5時 実際にインタビューをする場面を想定して、友達とお気に入りの場所についての3ヒントクイズを行う。（本時）</p> <p>第6時 外国の方に、自分のお気に入りの場所を伝える表現を知ったり、FLTに相談したりする。</p> <p>第7時 外国の方に、自分のお気に入りの場所を伝える。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="text-align: center;">単元における授業づくりのしかけ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを伝える場を設定することで、伝えるために必要な表現を既習事項から考えさせる。 ・好きな場所や理由の相違をクイズ形式で互いに尋ねたり答えたりすることで、積極的なコミュニケーションを促す。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の学びや気持ちを伝えさせることで、自分の気持ちがより伝わるようにするには、どのような表現があるかを考えさせる。 ・ 実際に思いを伝えることで、自分の思いを伝えるには、他にどのような表現が必要かをふり返らせる。 </td> </tr> </table>		単元における授業づくりのしかけ	探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを伝える場を設定することで、伝えるために必要な表現を既習事項から考えさせる。 ・好きな場所や理由の相違をクイズ形式で互いに尋ねたり答えたりすることで、積極的なコミュニケーションを促す。 	省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の学びや気持ちを伝えさせることで、自分の気持ちがより伝わるようにするには、どのような表現があるかを考えさせる。 ・ 実際に思いを伝えることで、自分の思いを伝えるには、他にどのような表現が必要かをふり返らせる。
	単元における授業づくりのしかけ						
探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを伝える場を設定することで、伝えるために必要な表現を既習事項から考えさせる。 ・好きな場所や理由の相違をクイズ形式で互いに尋ねたり答えたりすることで、積極的なコミュニケーションを促す。 						
省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の学びや気持ちを伝えさせることで、自分の気持ちがより伝わるようにするには、どのような表現があるかを考えさせる。 ・ 実際に思いを伝えることで、自分の思いを伝えるには、他にどのような表現が必要かをふり返らせる。 						

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ お気に入りの場所や理由を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な伝え方で、お気に入りの場所や理由について友達とやり取りしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことを考えながら自分の好きな場所や理由を伝え、相手を理解しようとする。

外国語活動学習指導本時案

授業者 中岡 正年

日時：2019年11月3日（日）第1校時（9：10 ～ 9：55）

対象：第4学年B組 29人

場所：4年B組教室

本時の主張点	お気に入りの場所や理由についてクイズ形式で友だちとやり取りを行うことで、自分の思いを伝えるために必要な言葉や表現を探究するだろう。
--------	---

1. 本時の構想と学習課題について

先日の学年合宿の際に訪日外国人にウェルカムカードを渡す実践を行った。事前にシミュレーションを行ったが、本番では上手く渡すことができない子どももいた。しかし、この活動により、外国の人とも話すことができた達成感を味わい、コミュニケーションをとることの楽しさや情報を得ることの大切さを実感したようだった。また渡せなかった子どもも、次は渡したいという思いをより強くもつようになった。そこで、本時においても自分のお気に入りの場所を尋ねたり伝えたりする際に、既習の表現を活かすことでコミュニケーションをとる楽しさを感じさせたい。そして、次回の訪日外国人へのプレゼンテーションに向け、思いを高める時間にしたいとも考えている。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

社会科の学習を想起させつつ、お気に入りの場所を尋ねたり、答えたりする活動を行うことや実際にコミュニケーションを図る場を設定することは、子どもたちにとって意味のある活動になると考えている。一方、外国の方に外国語で何かを尋ねたり答えたりすることは普段の生活の中で機会がなく、多くの者にとって不安や緊張を感じるだろう。しかし、普段、活動をともにしている友だち同士であれば心理的なプレッシャーは軽減されると思われる。よって、教室は外国語の表現に慣れ親しむためには適した環境だと捉えている。さらに、お気に入りの場所についてクイズを出し合う活動を通して、相手と積極的にコミュニケーションを取ろうとする思いが高まり、外国語でのやり取りを繰り返す中で言葉は互いの理解を深めるためのものであることに気付くとも考えている。その結果、探究と省察が生じ、さらに言葉や表現を獲得しようとする思いをもつと考えている。その姿勢は、子どもたちが、今後も外国語ではどのように表現するのだろうかと思いを継続することに繋がると期待している。

3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

昨年と本年度において「What ～ do you like?」「I like ～.」について子どもたちは学習してきた。本時では慣れ親しんだ既習の表現を用い、自分の思いを伝える場面を設定することで既習の表現や他教科での学びを活用・発揮させたい。ペアやグループでの練習の時間など、外国語の表現に十分に慣れ親しむための場面を設け、訪日外国人の方と実際にコミュニケーションを行う意識をもたせた上で、友だちと互いに思いを伝え合い、コミュニケーションをとることの楽しさを味わわせたい。

4. 本時の目標

効果的な伝え方で、お気に入りの場所や理由について友達とやり取りしている。

5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. はじめの活動を行う。(Warming up)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームごとに歌を歌う。 ・ 既習のことについて教師からの質問に答えたり、ゲームをしたりする。 <p>例・ What () do you like?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What's your favorite ()? ・ Where is ()? 等 <p>2. 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームに別れて歌うことで、お互いの様子を見て、音の確認をさせたり英語の表現に親しませたりする。 ・ 既習のことを思い出させながら、質問に答えられるようにする。 ・ 本時の表現につなげられるようにする。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">3 ヒントクイズをしよう！</div>	
<p>3. 尋ね方や答え方をペアやグループで確認する。</p> <p>○I like～を使うと伝えられそうだ。</p> <p>○What ○○ do you like ～?で質問できるんだったな。</p> <p>4. 前半と後半に分かれて、自分のお気に入りの場所についての3 ヒントクイズを行う。</p> <p>○友だちは、どんな言葉を選んだのかな。</p> <p>○クイズの出す順番はこれでいいのかな。</p> <p>○同じ場所でも友だちと理由が違うときがあるな。</p> <p>5. ふり返りカードを書く。</p> <p>○もっと詳しく伝えたいなあ。何て言えば良いのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が子どもにとって本時のモデルになるようにする。 ・ 質問と答え方の例を示しておく。 ・ 既習の表現を想起させ、活動を行わせる。 ・ 本時の学習が訪日外国人の方にプレゼンを行う練習になることも意識させる。 ・ 3 ヒントクイズが訪日外国人に魅力を伝えるプレゼンにつながることを意識させる。 ・ 相手に伝わりやすいように話させる。 <p>思効果的な伝え方で、お気に入りの場所や理由について友達とやり取りしている。【児童観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カードを書く際、ふり返りの視点を示して書かせる。

外国語活動学習指導本時案

授業者 中岡 正年

日時：2019年11月3日（日）第 校時（9：10 ～ 9：55）

対象：第4学年B組 29人

場所：4年B組教室

本時の主張点	お気に入りの場所や理由をプレゼンすることで、より外国語の表現に慣れ親しみ、自分の思いを伝えるのに必要な言葉や表現を探究するだろう。
--------	---

1. 本時の構想と学習課題について

先日の学年合宿の際に訪日外国人にウェルカムカードを渡す実践を行った。事前にシミュレーションを行ったが、本番では上手く渡すことができない子どももいた。しかし、この活動により、外国の人とも話すことができた達成感を味わい、コミュニケーションをとることの楽しさや情報を得ることの大切さを実感したようだった。また渡せなかった子どもも、次は渡したいという思いをより強くもつようになった。そこで、本時においても自分のお気に入りの場所を尋ねたり伝えたりする際に、既習の表現を活かすことでコミュニケーションをとる楽しさを感じさせたい。そして、次回の訪日外国人にプレゼンテーションに向け、思いを高める時間にしたいとも考えている。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

社会科の学習を想起させつつ、お気に入りの場所を尋ねたり、答えたりする活動を行うことや実際にコミュニケーションを図る場を設定することは子どもたちにとって意味のある活動になると考えている。一方、外国の方に外国語で何かを尋ねたり答えたりすることは普段の生活の中で機会がなく、多くの者にとって不安や緊張を感じるだろう。しかし、普段、活動をとともにしている友だち同士であれば心理的なプレッシャーは軽減されると思われる。よって、教室は外国語の表現に慣れ親しむためには適した環境だと捉えている。さらに、お気に入りの場所についてプレゼンを行うことで、相手と積極的にコミュニケーションを取ろうとする思いが高まり、外国語でのやり取りを繰り返す中で言葉は互いの理解を深めるためのものであることに気付くとも考えている。その結果、探究と省察が生じ、さらに言葉や表現を獲得しようとする思いをもつと考えている。その姿勢は、子どもたちが、今後も外国語ではどのように表現するのだろうと思考を継続することに繋がると期待している。

3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

昨年と本年度において「What ～ do you like?」「I like ～.」について子どもたちは学習を行った。本時では慣れ親しんだ既習の表現を用い、自分の思いを伝える場面を設定することで既習の表現や他教科での学びを活用・発揮させたい。ペアやグループでの練習の時間など、外国語の表現に十分に慣れ親しむための場面を設け、訪日外国人の方と実際にコミュニケーションを行う意識をもたせた上で、友だちと互いに思いを伝え合い、コミュニケーションをとることの楽しさを味わわせたい。

4. 本時の目標

効果的な伝え方を考えて、自分のお気に入りの場所や理由について話している。

5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. はじめの活動を行う。(Warming up)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームごとに歌を歌う。 ・ 既習のことについて教師からの質問について答える。 <p>例・ What () do you like?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Where is ()? ・ What's your favorite ()? 等 <p>2. 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームに別れて歌うことで、お互いの様子を見て、音の確認をさせたり英語の表現に親しませたりする。 ・ 既習のことを思い出させながら、質問に答えられるようにする。 ・ 本時の表現につなげられるようにする
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自分のお気に入りの場所を伝えよう！ </div>	
<p>3. 尋ね方や答え方を確認する。</p> <p>○I like～を使うと伝えられそうだ。</p> <p>○Do you like ～?で質問できそうだ。</p> <p>4. 自分のお気に入りの場所をプレゼンする。</p> <p>○友だちは上手に伝えるために、何か工夫しているところはあるかな。</p> <p>5. 自分のプレゼンを改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちのプレゼンや自分のプレゼンをふり返り、より良いプレゼンになるように改善点を考える。 <p>○相手の方を見ながら話している方が、よかったな。</p> <p>○話すスピードや声の大きさも大事だな。</p> <p>6. ふり返りカードを書く。</p> <p>○もっと詳しく伝えたいなあ。何て言えば良いのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の表現を想起させ、活動を行わせる。 ・ 本時の学習が訪日外国人の方にプレゼンを行う練習になることも意識させる。 ・ 教師が子どもにとって本時のモデルになるようにする。 ・ 質問と答え方の例を示しておく。 <p>思効果的な伝え方を考えて、自分のお気に入りの場所や理由について話している。</p> <p style="text-align: right;">【児童観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カードを書く際、ふり返りの視点を示して書かせる。